



# 教室無償で抗菌仕様

新型コロナウイルスの感染を防ぎたいと、白山市笠間中の教室の机やいす、ドアノブなどに3日、抗菌加工が施された。県内の建設会社や製材業者などが加わるNPO法人が抗菌作用のあるガラスコーティングを無償で施工し、定期的に効果を調べる。生徒の手が触れやすい場所を抗菌仕様とすることで感染リスクを減らし、安心して学べる場を整える。

抗菌加工を施したのは全12教室と音楽室などの特別教室

で、机やいす、ドアノブなどが対象となった。車などに使われるガラスコーティング剤に抗菌作用を加え、酸化チタンの触媒反応で菌やウイルス

を分解する効果があるという。

地元産材を使った地域活性化に取り組むNPO法人「環境プロジェクト」(新潟県上越市)の北陸支部が白山市教委に施工を申し出た。

## 県内建設業者らのNPO

## 白山・笠間中、感染リスク軽減

3日は県内外から集まったメンバー15人が机などに液体のコーティング剤を塗り、薄いガラスの膜で覆った。コーティングは耐久性が高く、効果は数年続くという。

今後は月に1回程度、抗菌加工を施した場所の汚れを機械で検査し、効果が保たれているかを検証する。環境プロジェクト北陸支部の岩本辰也理事(44)は「子どもたちに安心して過ごしてもらいたい」と話した。

笠間中では市教委が雇用したスクールサポートスタッフが毎日、校内をアルコール消毒液で拭き上げている。

消毒作業の負担が減ることになり、松本政彦校長は「サポートスタッフに他の仕事を任せられるようになり、大変助かる。生徒が不安なく勉学に励める環境を整えたい」と喜んだ。